



朝陽五小だより

鶴岡市立朝陽第五小学校

令和6年10月31日

令和6年度 第7号

TEL22-0514 FAX22-0462

Email choyo5-e@school.city.tsuruoka.yamagata.jp

令和7年度に向けての動き

新校舎での学校生活も2か月経過しましたが、その隣りでは旧校舎の解体作業が進んでいます。慣れ親しんできた古い校舎が日に日に無くなっていく様子や、変わりゆく景色に少し寂しさを感じる今日この頃です。校舎が解体された跡地には、駐車場やグラウンド、プールなどが新たに建設されます。駐車場は来春から、グラウンドやプール等は令和8年度から使用できる予定です。さて、この時期になりますと、来年度に向けての様々な動きも出てくるのですが、今回は来年度にかかわって2つのことをお知らせいたします。

1. 「第二ブロック小中一貫教育推進事業」のスタート

鶴岡市では令和7年度より、中学校ブロックごとに小中一貫教育の推進を図る取り組みがスタートします。それを受けて二中ブロック（五小、三小、京田小、二中）でも、義務教育9年間を見据えた一貫性のある教育を進めることとなりました。二中ブロックで目指すのは「自立」と「共生」です。これは二中の学校教育目標でもあります。7歳で義務教育の入口に立った子どもが、15歳の義務教育の出口までの9年間で、「主体的に学び、かかわり合う力（＝自立と共生）」を養うことを目標にしました。小学校と中学校が目標と手立てを共有し連携を図りながら子ども達を育てていく取り組みが来年度から始まります。

2. 「コミュニティ・スクール」の導入開始

「学校運営協議会」という組織を立ち上げた学校のことを「コミュニティ・スクール」と言いますが、五小も来年度から学校運営協議会を立ち上げることとなりました。コミュニティ・スクールの目的は、「地域と共にある学校づくり」を推進することです。

その推進ために、委員の方々（五小は6名の予定です）から年3回の会議に参加いただき、学校運営の基本方針を承認いただいたり、学校運営や教育活動へのご意見をいただいたり、評価していただいたりします。地域の方と学校が目標やビジョンを共有し、五学区の子ども達をどのように育て、何を実現していくのかを話し合うことはとても意義のあることだと感じています。学校運営協議会で話し合われたことは、その都度皆さま方にもお伝えします。

この2つの取り組みは、子ども達が、複雑化・多様化しているこれからの社会を生き抜く資質と能力を育むためのものです。多くの方々の知恵と力をお借りしながら、五小の子ども達がたくましく社会を生き抜く力を育んで参りたいと思います。

文責：校長 岡部 貞二